

にんにく卵黄 『青春の元』 たより
(9月号) 株式会社パワーボール

『天災は 忘れた頃にやって来る』 寺田 寅彦
～～ 備えあれば 憂いなし ～～ (物理学者・随筆家)

9月がやって参りました。1日は「防災の日」です。いつ起きるか分からない災害に備えて全国各地で防災訓練をします。今から89年も前のこと、大正12年9月1日にさかのぼります。午前11時58分、日本中を震撼させたあの関東大震災の日です。でも、その事実を知り、伝えてくれる人はどこにも居ません。そのため、私たちはこの日を【防災の日】と定め、心の教訓として、全国民に呼びかけているのです。

昨年の3月11日午後2時46分、忘れもしない東日本大震災。あれからもう1年半が過ぎ去ろうとしています。どこでどんな災害に見舞われるか分からない不安な生活、早く安全な時が確保できる日を迎えたいものだと思います。

どうか、この9月が安全で安心な月でありますよう、また台風など無い、きれいな仲秋の名月が眺められるような穏やかや月でありますよう、「青春の元」を愛用されている皆さんと共に祈りたい気持です。あの暑さの厳しい8月を乗り越えられた気力と体力を生かして、素晴らしい9月でありますようお互いに願いたいと思います。

『暑さ寒さも 彼岸まで』

～ ても 残暑お見舞い申し上げます ～ 仲秋の名月

左の写真は彼岸花、別名「マンジュシャゲ」とも言いますが、この花のように、季節を敏感にとらえて咲く花は、他にないのではないかと思うくらいに、靈験新かな気持ちにしてくれます。

ところで、「彼岸」について少しふれてみましょう。

今年の秋の彼岸は、9月19日から25日まででその間の22日が「彼岸の中日」(秋分の日)となります。この日は「祖先をうや

まい、なくなった人々をしのぶ」日となっています。墓参で心を清めることも、これから生きるための力になることは言うまでもありません。

さて、この日に神棚、仏壇に上げる「ぼたもち」と「おはぎ」の違いはお分かりですか。

その答えは、日本で彼岸に供え物として作られる「ぼたもち」と「おはぎ」は基本的に同じもの。違うのは食べる時期だけ。呼び名の違いは、彼岸のころに咲く「牡丹」(春)と「萩」(秋)に由来します。ぼたもちは漢字で「牡丹餅」で春の彼岸に食べるもの。おはぎは漢字で「お萩」で、秋のお彼岸に食べるものです。

「青春の元」ご愛用の皆様には、ご先祖様に捧げたお萩を味わいながら、傍らの「青春の元」も愛用いただき、お元気で過ごされますよう祈念申し上げます。

(文責 顧問 M・T)



9月の花 桔梗(キキョウ)



イメージキャラクター